

羽田空港

四組 今道周雄

最近は仕事の関係で羽田空港の国際線ターミナルを屢々訪れる。ある日、たまたま昼食時間にかかったので、コンビニでサンドイッチを買い込み展望台で食べることにした。展望台からは五本の滑走路と第一・二ターミナルビルがよく見える。説明書によれば、西方向はるかに富士山が見えるそうだ。

● 吾^あが投げしパンを啄^{つば}むセキレイは飛立つジェット^あの音にもめげず

屋上展望台には人馴れしたセキレイがいて、私の周りを歩き回っている。パンくずを投げると啄ばんだのだが大きすぎて食べきれず、嘴から放した瞬間強い風が吹きパンくずは飛んでいってしまった。セキレイはジェット機の轟音をまったく気に留めていない様だった。

● 軽がると陸地に降りし旅客機を支える車輪は黒々とゴム跡残す

旅客機の重量は六〇トン前後ある。着陸時は如何にもかるそうに見えるが、車輪には大変な荷重がかかっている。その上ブレーキを掛ける為にゴムタイヤは削れて滑走路にへばり付いてしまう。この様なゴムは悪影響がある為、清掃しなければならない。

● 遙かなる国より着きし旅客機は色とりどりの旅人降ろす

昭和四〇年代には海外へ行くというのは大変だった。私が初めて米国へ出張した時は会社の人が見送りに来てくれ、饒別までいただくほどだった。今は鉄道で旅するのと変わらない気軽さで旅をしている。

● 空港の安全守る人々は黄色い車をもくもくと御^ます

空港整備の仕事は危険であり、寒さ暑さに堪えるつらい仕事である。元は男ばかりの仕事場であったが最近では女性が進出してきた。小柄な女性がヘルメットを被り、安全ベルト、安全靴で任務に就いているのを見るとつくづく偉いと思う。

● 埋め立てし空港なれば沈み行く定めのがれぬ測定値かな

空港整備の仕事は多岐に渡っている。エプロンは三メートル四方のコンクリート板を敷き詰めてあり、板と板の間は目地材で埋めてある。目地材が傷んだりコンクリート板の角が欠けたり、あるいはヒビが入ったりする。そのうえ沈下がおこり、常に平坦な状態を保つのは大変な努力が必要である。

